

やさしい街

広報誌

No. 190 ふれあい
ネットワーク

2012年7月

さっぽろ市社協

東北復興応援と被災地から学ぶボランティアバス出発！



現地で被災された方から、被災当時の状況や避難所生活の様子等の説明を受けました（釜石市）



砂利の除去のボランティア活動（陸前高田市）



民宿再建を支援するための食器洗いのボランティア活動（釜石市）

札幌市社会福祉協議会では、5月に今年最初となるボランティアバスの第1便を運行し、岩手県陸前高田市・釜石市にて、ガレキの撤去などのボランティア活動を行いました。被災地への関心や思いをずっと持ち続けていた40名が参加しました。

今年のボランティアバスは、ボランティア活動の他にも、現地ガイドによる防災学習や仮設店舗訪問、住民交流などを加え、より地域と密着した内容で企画しました。（詳細は5頁参照）

CONTENTS

- 2 社協事業トピックス
- 3・4 地域福祉情報提供
- 5 札幌市ボランティアセンターから
- 6 平成23年度事業報告・決算
- 7 札幌市共同募金委員会から
- 8 情報トピックス



本誌は赤い羽根共同募金の助成金で発行されています

「福まちウィーク」イベントのご案内

地域住民の日常的な支え合い活動、ボランティアによる福祉サービスの推進を基本目標に、市内89地区で活動に取り組んでいる「福祉のまち推進センター事業」を広く市民の皆様にご覧いただき、幅広い市民の福祉活動への参加を呼びかけることを目的に、9月第3週を「福まちウィーク」と位置づけ、「福まちウィーク」期間中に福祉啓発を図るための様々なイベントを開催します。

①「福まち発」地域福祉市民活動フォーラム

○開催日時：平成24年9月19日（水）13時30分～16時15分（受付12時30分～）

○開催場所：北海道立道民活動センター（かでの2・7）かでのホール
（住所：中央区北2条西7丁目道民活動センタービル）

○内 容

・基調講演

演 題 「集合住宅における孤立死問題と地域と連携した見守り活動について」（仮題）

講 師 北翔大学人間福祉学部 学部長 林 恭裕 氏

・事例発表・シンポジウム

テーマ 「集合住宅における高齢者の孤立死防止に向けた取り組みについて」（仮題）

発表者 厚別区もみじ台地区第二もみじ自治会 会長 佃 律子 氏

発表者 北区幌北地区幌北第3町内会 会長 小川 富之 氏

コーディネーター 北翔大学人間福祉学部 学部長 林 恭裕 氏

○申し込みについて

例年、参加希望者が多く、申込みは先着順になりますことをご了承ください。なお、福まち活動者等の関係者の皆様への開催案内は、別途、ご案内いたしますので、9月12日（水）までに、下記へお申込みください。



昨年度のフォーラムの様子

②「福まち活動写真及び広報紙」コンクール

○開催期間：平成24年9月15日（土）～9月23日（日）

○開催場所：札幌市社会福祉総合センター1階ロビー、かでの2・7ロビー（※9月19日のみ）

○内 容：地区福まちや町内会等の福祉活動の様子を捉えた「活動写真」と「広報紙」の入賞作品展示



昨年度のコンクールの様子

③小学生の描く「人にやさしい福祉のまちづくりポスター」作品展

○開催期間：平成24年9月15日（土）～9月23日（日）

○開催場所：地下街オーロラタウン内「オーロラスクエア」

○内 容：小学生の描いた「福祉のまちづくりポスター」の入賞作品展示

上記各種イベントに関するお問い合わせ先 札幌市社会福祉協議会 地域福祉係（8ページ参照）

「さっぽろハーティーウィーク（札幌市高齢者保健福祉週間）」イベントのご案内

①第29回 1000人ダンススポーツフェスティバル

○開催日時：平成24年8月4日（土）11時～16時

○開催場所：北海道立総合体育センター（きたえる） 住所：豊平区豊平5条11丁目

○内 容：ダンス交流タイム、シルバーコンペ※スタンダード（ワルツ・タンゴ）、ラテン（チャチャチャ・ルンバ）、シルバ大会、競技選手による演技披露、グループの発表

○参加方法：当日、直接会場へお越しください。※シルバーコンペは事前申込みのため、当日参加はできません。

○その他：土足厳禁。女性のダンスシューズには必ずカバーをつけてください。

○問い合わせ：1000人ダンススポーツフェスティバル実行委員会

実行委員長 村上トミエ（電話・FAX：011-811-5842）

②第10回シニア提言の集い

○開催日時：平成24年9月10日（月）14時～15時30分

○開催場所：札幌市社会福祉総合センター4階 大研修室

○内 容：下記テーマに沿って募集した提言の中から事前審査を通過した方の発表とシンポジウム
テーマ「今、私が一番大切にしたいこと」

○参加方法：当日、直接会場へお越しください。

○問い合わせ：NPO法人シーズネット（電話：011-717-6001）

民生委員・児童委員の活動にご理解とご協力をお願いします

全市的に民生委員・児童委員の1人当たりの担当世帯数が増加している中、特に、中央区では、高齢者の都市部への転居などが理由で民生委員の担当世帯数が急増しています。

中央区民生委員児童委員協議会（以下「民児協」という）では、地域の身近な相談相手としての民生委員・児童委員の存在と活動内容を広く市民に理解を深めてもらおうと、「民生委員・児童委員の日活動強化週間」の全国一斉取り組み日となった5月13日（日）に、札幌駅前通地下歩行空間のイベントスペースと札幌駅南口駅前広場に、街頭啓発並びに活動啓発パネル展を初めて開催しました。

当日は、中央区の各地区民児協の役員、中央区社協・中央区保健福祉部の職員約50名が、民生委員や地域の相談機関の役割や連絡先が掲載されたチラシ等を1,500部配布し、活動をPRしました。

中央区民児協の三上嵩男会長は、「民生委員・児童委員は、地域の福祉課題を解決するために大切な役割を担っているのです。たくさんの方に活動を知ってもらえる機会になってくれたら」と話していました。

また、「民生委員・児童委員の日活動強化週間」の期間中には、中央区以外の各区の地区民児協においても同様に、地域の住民や関係機関・団体等に理解を深めていただくための街頭啓発活動等のPR活動が行われました。

民生委員・児童委員が福祉に関する相談や支援の担い手としての役割を果たしていくためには、多くの方にその存在や取り組みを知っていただくことが重要となります。民生委員・児童委員の活動に関心とご理解をお寄せくださいますようお願いいたします。



中央区民児協のPR活動の様子



西区発寒北地区民児協のPR活動の様子

札幌市で初めての地区版の地域福祉活動計画を策定しました

東区の北光地区社会福祉協議会は、札幌市社協・東区社協の支援を受けて、地域独自の地域福祉市民活動計画を策定しました。

北光地区社協では、これまで「安心して安全に暮らせる福祉のまちづくり」を活動理念に、見守り・訪問活動を重点事業として、サロン活動の推進や福祉マップづくりなどの地域福祉活動に積極的に取り組んできましたが、地域福祉活動の更なる充実と地域福祉を組織的・継続的に推進するため、市内で初めて、地区版の地域福祉市民活動計画を策定しました。

この計画は、北光地区の関係団体の代表者等で構成された計画づくりの策定委員会が中心となって、地域の各種会議等にて、地区内の福祉活動者の意見や思いを集約し、4つの地域福祉を推進するまちづくりの柱を定めました。そして、この4つの活動の柱を実現するための活動目標、具体的な取り組み、活動の中心となる組織などを計画に掲載しました。

この計画づくりの中心的役割を果たした北光地区福祉のまち推進センターの掛端事務局長は、「この地域福祉活動計画は、地域の福祉活動の指針であり、また、計画があれば、これまで取り組んできた地域の活動をこれからの活動者へ引き継いでいく上でも、大変役立つと思います。」と話しをしてくれました。

札幌市社協では、平成24年度は、北区の拓北・あいの里地区をモデル地区に選定し、地域の福祉活動計画づくりの活動を支援し、将来的には、各地区においても計画づくりの活動を進めていきたいと考えています。



画像処理・情報処理・印刷・・・
皆様に支えられて創業80年

FUJITA Image Processing Consultant
藤田アイピーコンサルタント有限会社
☎001-0022札幌市北区北22条西6丁目1-32
TEL011-737-0710 FAX011-737-0712

1年間で資格を取得!! 介護福祉士講座

入学条件 大学・短大・専門学校の保育士養成課程を卒業（見込み）し、保育士資格を有する者

●介護福祉士+保育士の2つの資格取得で

POINT ●より広がる活躍の場

●教育訓練給付制度対象講座（厚生労働省）

※雇用保険に適用3年以上加入しているなどの一定の条件（注）を満たす場合は、学費の20%（上限10万円）が給付されます。注：詳細は最寄りのハローワークにご相談ください。

●平成27年3月までに学習終了者は国家試験免除

Yoshida 専門学校北海道福祉大学校 介護福祉学科（1年）

URL:www.yoshida-fukushi.jp/gakka3/

☎0120-607033

E-MAIL: public@yoshida-g.ac.jp

札幌市中央区南3条西1丁目
（地下鉄大通駅徒歩3分）

ボランティアバス再び～

岩手県陸前高田市・釜石市へ

今年のボランティアバスは、ツアー期間を1日増やし、さらに、昨年とは違って活動場所から近い宿泊場所（釜石市宝来館等）が確保できたことから、ボランティア活動の他に防災学習も盛り込んだ内容となりました。防災学習では、「三陸ひとつなぎ自然学校」の協力をいただき、現地ガイドによる被災地視察や宝来館の女将さんから震災当時や復興についてのお話を伺う機会を設けました。また、仮設店舗での交流等の機会もつくり、昨年よりも被災地の方々との距離感も近くなるよう企画しました。

被災地の状況は、昨年までガレキが積み重なっていた場所にガレキがなくなっている他、仮設店舗やスーパーが営業を始めるなど少しずつではありますが、復興を感じさせる景色がそこにはありました。

今回のボランティア活動は、陸前高田市では再開した建具店付近での畑の砂利出しや草刈り、釜石市では神社付近の清掃や倒木撤去作業、民宿を再開するため津波で泥をかぶった食器を洗う活動をさせていただきました。ボランティア活動を通じて、依頼者から震災当時の状況や心境などの話を聞く大変貴重な機会をいただきました。

その後、6月・7月に同内容で1便ずつボランティアバスを実施し、被災地支援の一助をさせていただきました。秋以降も大人数で行うボランティアニーズが現地にあれば、増便し、少しでも被災地のお力になればと考えております。

1日目

バス出発(夕方)→フェリー乗船



5日目

フェリー乗船→バス到着(早朝)



ボランティア バスの 5日間の流れ

2日目

陸前高田市でボランティア



3日目

釜石市でボランティア



4日目

釜石市で防災学習



参加者の感想

- ・大変すばらしい企画です。少しでも東北復興のお手伝いができるような企画をお願いします。
- ・被災地で、地元の方のお話を聞くことが出来、大変良かったと思います。重機ではなく、人の手でなければできない仕事がたくさんあり、今後もこのような企画をお願いいたします。
- ・防災学習(釜石の奇跡)はとても良い企画だと思いました。お話を生で聞くことができ、胸が熱くなり感動しました。
- ・自分には、被災地の現場に行くことは、辛かったです。
- ・寒さや雪の多さに慣れているので、ボランティアの数が少なくなる冬の時期も企画をお願いいたします。きっと多くの参加者が集まると思います。

平成23年度 事業報告

平成23年度は、岩手、宮城、福島のほか、広範な地域に甚大な被害をもたらした東日本大震災に関連して、被災地災害ボランティアセンターの運営支援やボランティアバスの運行による支援活動を行ったほか、本市における災害ボランティアセンターの具体化や人材の育成など、「災害」と向き合い、備える事業が実施されました。

また、重点項目として掲げている「市民が互いに支えあう活動の充実」においても、日頃からの安否確認、助け合いの活動が災害時の備えとなることをあらためて確認するなど、災害を意識した地域福祉活動が推進されました。

平成23年度重点事業を中心に

【福祉のまち推進センター事業の充実】

福まち活動における災害時の備えを意識した事業を実施したほか、地域における見守りや安否確認を推進するための福祉推進委員会の活動支援、より多くの市民が活動に参加するための地域見守りサポーターの養成研修を2年目として取り組み、地域福祉活動の充実を図りました。

- 地域福祉市民活動フォーラムの開催
テーマ「災害時に備えての福まち活動のあり方」
- ご近所パワーアップ事業、次世代リーダー養成研修、福まち学習会開催などによる、福祉のまち推進センター・福祉推進委員会の活動支援・強化
- 地域見守りサポーター養成研修の実施（33回 1,202人）

【ふれあい・いきいきサロンの普及と充実】

現在活動中の本会登録サロンは494サロンで、引き続き増加しています。また、23年度においては、震災の被災地でのサロン活動や地域福祉活動をテーマとしてセミナーを開催し、サロンが育む住民同士のつながりの大切さ、サロン活動の必要性を確認する機会ともなりました。

【ボランティア活動の振興・普及の強化】

ボランティア研修センターでは、より参加しやすい出張研修の強化を図り受講者、受講率ともに前年を上回りました。また、「災害時地域支え合い講座テキスト」を作成し、地域福祉活動への参加促進はもとより、災害時の支えあい活動にも関心を寄せていただく取り組みを実践しました。

- ボランティア研修センター受講者数
14,684人（前年度10,204人）出張研修 260回（前年度131回）
- 災害時地域支え合い講座テキスト 2,000部作成

【福祉サービス利用援助事業の推進】

高齢者や障がいのある方が、安心して地域で暮らすことを支援するために、日常生活自立支援事業や法人後見事業、各種相談業務を実施いたしました。

- 日常生活自立支援事業の実施（事業開始当初からの契約件数663件）
- 法人後見事業の実施（受任件数延べ6件）
- 障がい者あんしん相談の実施（相談件数2,263件）

【福祉サービスの苦情の早期発見、解決に向けた取り組み強化】

苦情内容について、関係機関と協議、連携しながら解決に向けた取り組みを行いました。また、高齢者介護の問題、虐待防止等に向け、ネットワークの強化を図りました。

- 福祉サービス苦情相談の実施（相談件数433件）
- 高齢者虐待相談の実施（相談件数44件）
- 高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会の開催（3回）など

【各種資金貸付事業の推進】

離職や失業により生活維持が困難となった世帯等への支援として総合支援資金を中心に各種貸付を行いました。（貸付総件数1,236件）

【地域包括支援センター及び介護予防センターの受託・運営】

市内4カ所の地域包括支援センターと1カ所の介護予防センターを受託・運営し、個性性と地域性の重視、住民福祉活動や関係団体・機関と連携した介護予防活動に取り組みました。

- 総合相談の実施（3,782件）
- 予防給付ケアプランの作成（2,935件）
- 介護予防センターの予防啓発事業の実施（93回、延べ1,445人参加）など

【東日本大震災の支援活動など】

- 被災地社協支援に係る職員派遣（仙台市、岩手県宮古市、福島県新地町）
- 災害支援ボランティアバスツアーの実施（全8回、318人参加）
- 「東日本大震災から1年～寄り添う気持ちを忘れない」研修講演会
- 札幌市災害ボランティアセンター連絡調整会議の開催（3回）など

平成23年度 決算報告

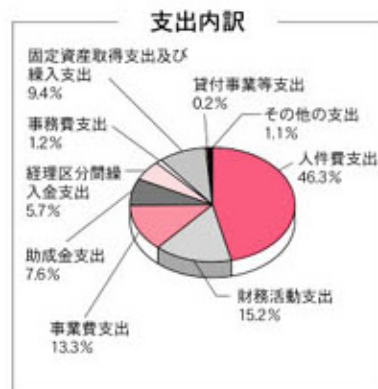
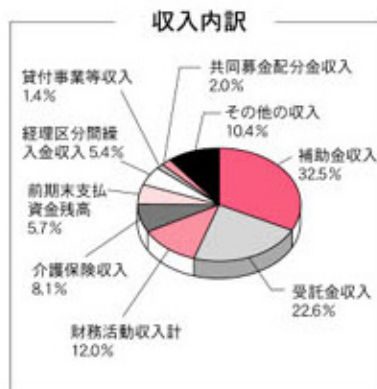
（支出内訳）

総額	1,738,570,304円
一般会計	1,612,684,174円
法人運営事業	266,860,674円
企画調整・調査研究事業	1,578,863円
地域福祉推進事業	164,787,294円
ボランティアセンター活動推進事業	37,090,000円
情報センター管理運営事業	28,770,000円
地域包括支援センター運営事業	334,510,163円
福祉サービス利用援助事業	81,258,300円
生活福祉資金等貸付及び援護資金事業	145,406,042円
共同基金受託事業	120,896,143円
基金運営事業	431,526,695円
特別会計	125,886,130円
社会福祉総合センター管理運営事業	102,209,550円
ボランティア研修センター管理運営事業	23,676,580円
平成23年度への繰越金	95,822,909円

財産目録（H24.3.31）

資産の部		負債の部	
（単位：円）		（単位：円）	
流動資産	179,289,039	流動負債	83,466,130
現金	91,131	未払金	68,045,724
預貯金	120,542,079	預り金	8,248,611
未収金	57,085,318	その他流動負債	7,171,795
その他流動資産	1,570,511	固定負債	653,774,987
固定資産	1,204,997,323	借入金	281,154,681
基本財産	3,000,000	引当金	370,224,791
貸付金	263,464,891	その他固定負債	2,395,515
その他固定資産	938,532,432	負債の部合計	737,241,117
資産の部合計	1,384,286,362	純資産合計	647,045,245

平成23年度事業報告及び収支決算書は本会ホームページでもご覧いただけます（<http://www.sapporo-shakyo.or.jp/>）



コードやコンセントは、容量以上にお使いになりますと発熱し、キケンです。



北海道でんき保安協会
本部：札幌市西区発寒6条12丁目6番11号
☎：011-555-5001(代)



札幌市共同募金委員会から

平成 23 年度 札幌市共同募金委員会 決算報告

(単位：円)

●寄付金会計

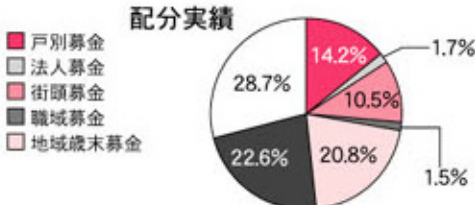
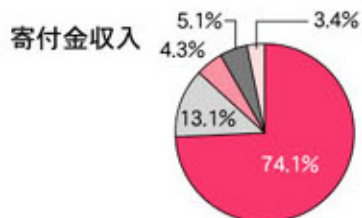
寄付金収入・支出		109,233,022	配分金収入・支出		68,620,946
一般募金	105,469,373	戸別 80,981,239 法人 14,308,982 街頭 4,643,386 職域 5,535,766	一般配分金 64,817,300 道地域配分金 21,817,300 市地域配分金 43,000,000	市・区・地区社協 33,181,000 福祉団体 8,619,000 福祉施設 1,200,000	
地域歳末募金	3,763,649		歳末配分金 3,803,646	道民歳末 300,000 円を含む	

(注)「寄付金支出」は道共募への送金。「配分金」は、一部を除き平成 22 年度募金によるもので、市共募経由のみ。

●事務費会計

収入	14,266,696	支出	11,026,716	人件費 6,472,207 事務費 321,898 事業費 4,232,611	翌年度繰越金 3,239,980
(うち支会分会費交付金) (10,500,000)					

(単位：円)



- ハンディキャップを持つ方々の社会自立のために
- 子どもたちや母子・父子家庭福祉のために
- 高齢者福祉のために
- NPO やボランティアの活動のために
- 様々な福祉活動のお知らせ・共同募金運動推進のために
- 私たちの福祉のために
- 全道・広域の福祉のために

平成 24 年度 札幌市共同募金委員会会長表彰

平成 24 年 7 月 3 日に開催した札幌市社会福祉大会において、赤い羽根共同募金運動にご尽力された地区分会及び団体・学校を表彰いたしました。これからも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

優秀地区《継続の分野》 長年継続して期待額を達成した地区分会

- 特別表彰 期待額 30 年継続達成
- ・東区共同募金委員会 丘珠地区分会



丘珠地区分会

優秀地区《優秀の分野》 区共同募金委員会より推薦された優秀地区 11 地区分会

- 中央区共同募金委員会
- 北区共同募金委員会
- 東区共同募金委員会
- 白石区共同募金委員会
- ・中央地区分会
- ・新川地区分会
- ・苗穂東地区分会
- ・白石東地区分会
- ・幌西地区分会
- ・新琴似地区分会
- ・鉄東地区分会
- 手稲区共同募金委員会
- ・南円山地区分会
- ・鉄西地区分会
- ・元町地区分会
- ・新発寒地区分会



白石東地区分会

《優秀団体の分野》 共同募金運動に功績のあった 4 団体

- ・札幌市白石区東札幌地区民生委員児童委員協議会
- ・札幌市社会教育協会
- ・朗読ボランティアグループ声のとびら
- ・救護施設札幌市あけぼの荘



朗読ボランティアグループ声のとびら

《優秀学校の分野》 共同募金運動に功績のあった学校 3 校

小学校の部

札幌市立小野幌小学校



表彰の栄を賜り、児童会を中心とする「社会に貢献する心」を育てる活動の励みとなります。

中学校の部

札幌市立上野幌中学校



日常活動でリングブルを集めています。さらに募金活動等にも取り組むことで、おもいやり心が育ってくれたらと思います。

高等学校の部

市立札幌大通高等学校



「できることから少しでもやってみよう」との思いから、街頭募金に取り組んでおります。

当施設は住宅型になりますが、要支援・要介護の方を対象とした施設です。「シティホーム山鼻」独自のキメ細かいサービスを提供しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

居室：48室(57名)／個室39室(各18㎡) 夫婦居室9室(各36㎡)

入居金／個室Aタイプ630万円／夫婦居室Bタイプ1,080万円／夫婦居室Cタイプ1,140万円
月額費用／(個室)99,750円 (夫婦居室お一人)86,100円 (食費別)

・住居の権利形態／利用権方式 ・入居時の要件／入居時要支援・要介護
・利用料の支払い形式／月払い方式

住宅型有料老人ホーム 札幌市中央区南16条西19丁目1番32

シティホーム山鼻3号館 事業主体名：ホクビシティホーム株式会社

URL: <http://www.cityhome-yamahana.com>

TEL: 0800-800-9533 (または011-522-8123)



土地・建物／自己所有



介護付き有料老人ホーム シティホーム山鼻・シティホーム山鼻2号

札幌市ボランティア研修センター各種研修会のご案内

災害時地域支え合い講座

- ▼内 容/災害時における地域の支えあい(見守りや避難など方法)について、これまでの震災の教訓や事例を通して学び、災害に強いまちづくりを目指します。
 - ▼講 師/札幌市ボランティアセンター職員
 - ▼日 時/8月28日(火) 10:00~12:00
 - ▼場 所/札幌市ボランティア研修センター 第1研修室
 - ▼申込方法/電話かFAX
 - ▼定員/40名(先着順) ▼受講料/無料
- ※修了証として、災害用ホイッスルをお渡しします。

知的障がい理解するための講座

- ▼内 容/障がい当事者の方との交流と専門家による講義により、知的障がい者に関する基本的知識とコミュニケーション方法を学びます。
- ▼講 師/特定非営利活動法人 知的障害者在宅支援りほん 理事長 藤澤 静江 氏
- ▼日 時/9月7日(金) 13:30~15:30
- ▼場 所/札幌市ボランティア研修センター第1研修室
- ▼申込方法/電話かFAX ▼定員/30名(先着順)
- ▼受講料/500円

【お申込・問い合わせ先】札幌市ボランティア研修センター (下記参照)

ご寄付ありがとうございました (札幌市社会福祉協議会愛情銀行)

5月受理分

- ★株式会社ツルハホールディングス 様
1,828,827円
※社会福祉法人鶴翔会きさく苑へ14,414円を指定寄付
- ★佐藤水産株式会社 様 200,000円



株式会社ツルハホールディングス 様



佐藤水産株式会社 様

賛助会員の募集

札幌市社会福祉協議会では、活動に賛同し協力していただける賛助会員を募集しています。皆様からいただいた賛助会費は、札幌市の地域福祉を推進する貴重な財源として、様々な事業に役立てています。本会の活動の趣旨をご理解いただき、地域福祉のサポーターとして、お互いに支え合う街づくりの実現のため、ご協力をお願いいたします。

【年会費】 ■個人(1口) 1,000円 ■団体(1口) 10,000円 問い合わせ先 総務課(下記参照)

札幌市社会福祉協議会の連絡先

〒060-0042
札幌市中央区大通西19丁目1番1号 札幌市社会福祉総合センター内

代表	011-614-3345
総務課	011-614-3343
札幌市社会福祉総合センター	011-614-2948
地域福祉課地域福祉係	011-614-3344
生活福祉係	011-614-0169
FAX(上記共通)	011-614-1109
情報センター資料室	011-614-2001
FAX	011-615-2666
自立支援課	011-612-6110
高齢者・障がい者生活あんしん	011-632-7355
支援センター(相談係)	
FAX(上記共通)	011-613-5486

〒060-0001
札幌市中央区北1条西9丁目 リンケージプラザ2F

札幌市ボランティア研修センター	011-223-6005
札幌市ボランティアセンター	011-219-1737
FAX(上記共通)	011-261-8881

札幌市社会福祉総合センター・札幌市ボランティア研修センターでは会議室、研修室の貸出を行っています。ボランティア活動や市民活動の打ち合わせや研修の場としてご活用ください。(受付時間:月曜日から金曜日8:45~17:15)。

情報センター資料室より 今回のオススメ

『心のおくりびと』

今西 乃子 || 著 / 浜田 一男 || 写真 金の星社

東日本大震災を舞台に、一人の復元納棺師の女性が、遺族の悲しみを和らげようとはじめた、遺体の修復を行うボランティア活動とあして、支援の輪が広がっていく様子を描いたドキュメンタリー。
小学生から大人まで、たくさんの方に読んでほしい感動の物語です。



身近な地域福祉情報は、お近くの区社会福祉協議会の広報誌・ホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.sapporo-shakyo.or.jp/>

札幌市社会福祉協議会広報誌「やさしい街」

通巻190号 2012年7月25日発行

発行/社会福祉法人札幌市社会福祉協議会

※ホームヘルパー養成講座2級通信課程
＜最短45日コース(9月1日開講)＞
課題レポート 4回提出(スクーリング8回+実習5日間)
忙しい方も通信講座なら資格取得が可能です！

※NEW!! 介護技術-インストラクター-養成研修
あなたも介護技術の伝達者になります！
成長分野人材育成支援制度・キャリア形成促進助成金対象講座

※介護保険事務士上級e-ラーニング
いつでもどこからでもインターネット環境さえあれば自由に学べるe-ラーニングシステム！
PCはももんのこと！スマートフォン・タブレットからもアクセス可能となりました！
コンプライアンス・労務管理・請求事務等即戦力になる知識満載です！
※H24年4月以降の介護報酬改定バージョンに新しくなって10月1日開講！
受講生随時募集！介護保険事務のことを知りたい方必見！

同時 求職者支援訓練 10月2日開講 介護福祉実務・介護保険事務 科
募集！ 求職者支援訓練 9月6日開講 介護職員・介護保険事務 科
詳しくは・・・【今すぐHPへGO!!】
<http://www.tsushimakinen.ac.jp>
【Mailでのお問い合わせ先】
m_kobayashi@tsushimakinen.ac.jp



●お問い合わせ 医療・福祉の現場から誕生した 学校法人 つしま記念学園 専門学校 日本福祉学院
10820021札幌市東区南一条1丁目47番13号(北25条西1丁目) 札幌市社会福祉協議会
連絡先 ▶ 011-827-7217 短期課程事務科

企画から印刷・製本まで
トータル技術で社会に貢献する



株式会社 さんけい

〒063-0850 札幌市西区八軒10条西12丁目2-48
☎(011)611-8866(代) FAX(011)611-0422